

ご使用の際は、巻末の（使用上の注意）を必ずお読みください 取扱説明書番号 M531-RGXD 室内用

電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

お買上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造元 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

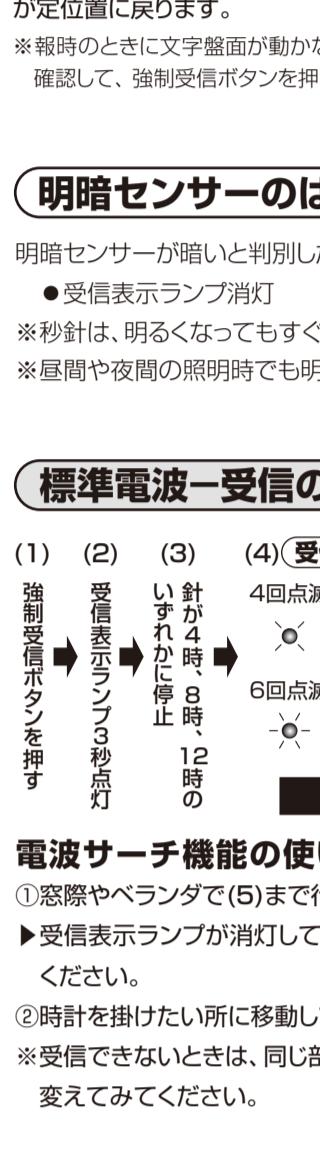
<https://www.rhythm.co.jp>

電池は付属しておりません。単1形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

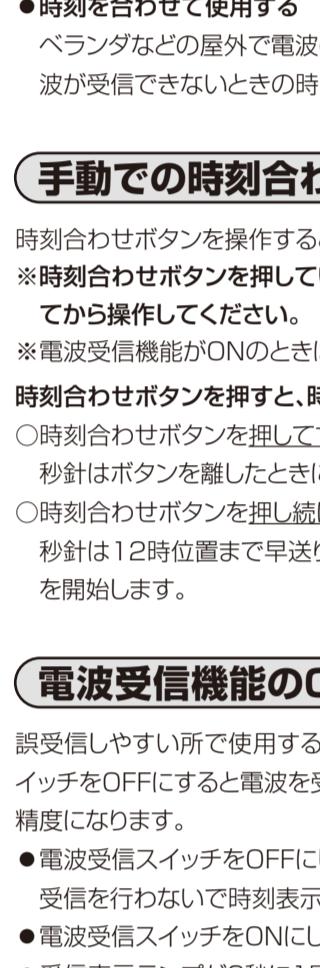
○図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

(正面)



文字盤面に4個の装飾用ランプが配置されています。

(裏面操作部)



回転飾りスタート補助レバー

回転飾りは、振動や傾きなどの影響で停止することがあります。回転飾りが停止したときは、スタート補助レバーを左または右にゆっくりと動かして回転飾りを作動させてください。

電池ホルダーの \oplus/\ominus 表示に合わせて電池を入れる

電池を入れる前に、必ずロックピンを外してください。

外さないで使うと故障の原因になります。

輸送する際は、機器を衝撃や振動から保護するため、必ずロックピンを差し込んでください。

ロックピンは、文字盤が正しい位置ないと差し込めません。(正面の図参照)

電池を入れる

電池ふたを引っ張って取り外し、単1形アルカリ乾電池(推奨)を2個入れて、電池ふたを押し込んで取り付ける。

電池ふた \rightarrow 開く 電池ふた \rightarrow 閉じる

△ 注意 電池の \oplus/\ominus を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

標準電波を利用して時刻を合わせる

標準電波を利用して時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ)を参照してください。

○窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① ロックピンを取り外す

② 電波受信スイッチをONにする

③ 操作中に大きな音が鳴らないように音量を最小にする

④ 電池ホルダーの \oplus/\ominus 表示に合わせて電池を入れる

⑤ 強制受信ボタンを押す (標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた) 参照

ランプが点灯して受信を開始します。また、針は4時、8時、12時のいずれかの時刻に早送りで移動して受信が終わるまで停止し、受信が終わると動き出します。

●電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。

●受信中はボタン操作をしないでください。

⑥ (時計の掛けかた) に従い、時計を確実に掛ける

⑦ 受信開始から16分後に受信結果を確認する

受信表示ランプが2秒に1回点滅しているれば受信に成功しています。

消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探すか、(標準電波を受信できない場合) を参照してください。

△ 注意 時計の掛けかた

時計を垂直に掛けてください

側面操作部

モーター

電波受信 OFF/ON

メロディ ON/OFF

A/B/C

音量

の: 小 Q: 大

メロディスイッチ

ON: 毎時時にメロディを1曲奏でます。

OFF: 呴りません。

○明暗センサーに連動して暗くなると報時が止まります。

選曲スイッチ

好みに応じて選択してください。曲名は本体裏面に表示してあります。

※表記の曲名はA,B,C,Dの4グループの例です。

モニター (メロディの試聴)

モニターを押すとメロディを1曲奏でます。メロディが鳴っているときにモニターを押すと次のメロディに切り替わります。次に報時するときには、再生の順番が1つ進みます。

●時刻合わせボタンを操作して、正時だとえば10時ちょうどに合わせても報時をしません。

●報時すると曲目の順番が1つ進みます。

●メロディは時刻ごとに固定されていません。また順番も変えられません。

報時との動き

オープニングメロディに合わせて、ランプが点滅します。その後メロディが1曲奏でます。

文字盤面が左右に割れて6時側に移動します。内部の飾りが回転し、メロディが終わると、エンディングメロディが流れます。

※報時との動きに文字盤面が動かないときは、ロックピンが引き抜かれているか確認して、強制受信ボタンを押してください。

△ 注意 時計の掛けかた

時計を垂直に掛けてください

△ 注意 時計を垂直に掛けてください